



石の防御

開始条件: レベル5のクラグハート

目的: 発生する敵の全滅

序幕:

常に肝に銘じておくべきは、屈辱そして追放。サヴァスの社会を去った後に得た成功にはすべて、それらが染みついている。胸にある傷跡は、そのことを決して忘れないためにあるのだ。

過去の過ちを帳消しにするため、絶えず戦ってきた。おそらくは自分の力を証明できたと確信したとき初めて、この傷の痛みは収まるだろう。

グルームヘイヴンより北を目指し、長く孤独な探索行を続けていると、微かな揺れを感じた。そして地下からの引力も。大地が呼びかけている。助けを求めている。この壊れた胸の奥底で、そのことが分かった。

さらに北の銅頸山脈を目指した。そして不気味な洞窟に入る。その奥の広い部屋で、隠されていた岩の結晶を見つけた。

その岩が振動を始めた。耳に不気味な声が届く。「われは危険を感じる。この大地を支配せんとする者がある。その者は、わが精髓の悪用を企んでいる。

われこそは知性そなえし大地。そしてこの岩こそ、わが力の中心。われには守護者が必要なり。来たるべき災厄から、われを護る者を。おぬしは、これを行うか?」

再び自分の傷に触れ、黙ってうなずいた。来るべき虐殺の準備は、もうできている。

特別ルール:

1、3、5 ラウンド終了時、通常モンスターの洞熊を1体、ヘクス **a** に配置し、上級モンスターのウーズを1体、ヘクス **b** に配置します。2、4、6 ラウンドの終了時に、通常モンスターの太陽の魔神を1体、ヘクス **c** に配置し、通常モンスターのウーズを **d** の各ヘクスに1体ずつ (計2体) 配置します。7ラウンド以降、モンスターは発生しません。

終幕:

両の拳は血と汚穢だらけになったが、任務は完了した。怪物どもはみな倒れ、目の前は死屍累々たる有様だ。今日はうまくいった。

洞窟の奥の部屋に歩いていくと、再び岩が震動した。「おぬしは大地の真の守護者たる者。わが存在の継続は、おぬしによる功績。したがってわれは、おぬしにこのお守りを授けようぞ。これにより岩石に対するおぬしの支配権は強化される。しかして、われが再び苦難を迎えることになろうものなら、これを通じておぬしに呼びよう」

報酬:

アイテム 138 番〈石のお守り〉



使用する
地形タイル:

N1a
B4b



洞熊



ウーズ



太陽の
魔神



がれき
(× 3)



水晶
(× 1)



岩の柱
(× 3)



巨岩の塊 (× 2)